

令和7年度 尾道市立美木原小学校教育研究構想

【学校教育目標】

ともに学び合い、未来を創る子供の育成

【めざす子ども像】

- ◆自分や友達を大切にし、思いやりをもって人とかかわる子供【感謝】
- ◆自分の考えを自分の言葉で表現する子供【自立】
- ◆目標に向かって根気強くやりぬく子供【挑戦】

【つきたい資質・能力】

コミュニケーション力

情報活用力

表現力

【研究主題】

読解力を高める授業づくり

～「言葉」を手がかりにした「伝え合う」授業を通して～

【取り組みの内容】

- ① 物語文を中心とした「読むこと」の指導の工夫
・文章内の言葉の意味、働き、使い方に着目することで、言葉による見方・考え方を働かせる指導
- ② 音読の充実
・ドリルタイムを中心とした、基礎学力・読解力を高めるための音読の実施
- ③ 話し合い活動の場面の充実
・一人一人が考えを聞き合い、伝え合うことで学びを深める

【研究仮説】

物語文を中心に「言葉」を手がかりとした「読むこと」の指導や、音読や話し合い活動を充実させることで、学びに向かう児童を育成し、読解力が向上するであろう。

【研究指標】

①②児童の読解力が向上したか。

	目標項目	1学期	2学期	3学期
①	国語科単元末テスト・学期末テスト(思判表の観点) 通過率 各学年 80 点以上の児童が80%以上	期待値 80%以上	期待値 80%以上	期待値 80%以上
②	国語科標準学力調査(「読むこと」の領域) 通過率 各学年全国平均以上の児童が80%以上			全国平均 80%以上